

境港ニュース



発行 境港貿易振興会

〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地255-3 TEL (0859) 47-3905 / FAX (0859) 47-3906
E-mail sptpa@sanmedia.or.jp URL https://www.sakaiminato-faz.co.jp/

2024年 コンテナ取扱貨物量が発表されました

このほど、境港管理組合より、境港の2024年1月から12月までの取扱貨物量(速報値)が発表されました。コンテナ本数(含:国際フィーダー航路)は、**23,774TEU**(実入り、20フィート換算)であり、韓中航路を含む韓国航路は減少した一方、国際フィーダー航路は増加となりました。

コンテナ取扱貨物量
23,774TEU



韓国航路は前年より減少の**16,707TEU(前年比95.5%)**、国際フィーダー航路は前年より増加の**7,067TEU(前年比146.8%)**でした。

航路別の状況

(単位: TEU)

種別	年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	対前年比(%)
韓国航路		19,615	19,792	17,067	17,489	16,707	95.5
中国航路		2,319	1,752	199			
国際フィーダー航路			309	3,352	4,815	7,067	146.8
合計		21,934	21,853	20,618	22,304	23,774	106.6

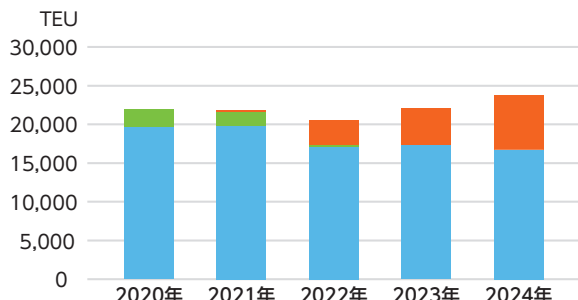
※2022年6月以降中国航路休止

※2022年3月より国際フィーダー航路開始

航路別 コンテナ取扱 貨物量推移

■ 韓国航路
■ 中国航路
■ 国際フィーダー航路

※日韓フェリー航路は韓国航路に含みます



輸出入別の状況

(単位: TEU)

種別	年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	対前年比(%)
輸出		11,265	12,170	9,987	11,020	10,697	97.1
輸入		10,669	9,374	7,279	6,469	6,010	92.9
移出・入			309	3,352	4,815	7,067	146.8
合計		21,934	21,853	20,618	22,304	23,774	106.6

輸出は、紙・パルプ等が減少し、**10,697TEU(前年比97.1%)**となりました。輸入は鉄鋼等が減少し、**6,010TEU(前年比92.9%)**となりました。

移出・入に計上される国際フィーダー航路では、輸出で合板、パルプ、魚介類等が増加、輸入で、建築資材、木製品等が増加、また、国内貨物の海上コンテナ輸送として木質ペレットの移出も行われました。

貿易相手 上位国

(単位: TEU)

順位	国名	2023年	2024年
1	中国	8,460	7,982
2	フィリピン	5,153	6,639
3	韓国	2,483	2,387
4	タイ	1,456	1,800
5	ベトナム	1,412	1,532

〈境港管理組合 2月10日付け資料提供から一部抜粋〉

※今回発表する数値は速報値であり、後日、発表する数値と異なる場合がありますのでご了承ください。

境港貿易振興会は、多くの方に国際貿易港・境港をひろく知っていただくため首都圏や地元でのセミナー開催、展示会への出展など、PR活動を継続的に行って参りました。

これからも、積極的なポートセールス活動やSNS等を活用した最新の情報発信、関係機関と更なる連携を図り利用促進に取り組んで参ります。

今後とも境港をよろしくお願いたします。



令和6年度 境港利用助成制度について ～申請書 提出期限のお知らせ～

令和6年度 境港利用助成制度の申請書提出期日は下記のとおりとなっております。令和6年度 境港利用助成事業計画書(以下:計画書)を提出済で申請される方は、提出期日にご注意ください。

令和7年1月1日～3月31日 利用分 ※令和6年4月～12月境港利用分は申請対象外

令和7(2025)年											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日
境港利用期間			4月1日～			申請期間			提出期限【当会必着】		
4月10日											



令和6年10月以前に計画書提出済の企業さま

- 上限金額に達した時点
 - 年度内の利用が終了した時点
- での申請は随時受け付けております。

■ 利用拡大申請予定の企業さま

令和7年1月に申請条件に達せず未申請の企業さまは、令和6年4月～令和7年3月末までの利用(予定)数量をご確認ください。



申請される前に、一度振興会までご連絡ください。

令和6年10月以降に計画書を提出された企業さま

昨年10月に境港貿易振興会のHPでもお知らせしておりますとおり、計画書を多くの企業さまにご提出いただいております。予算の執行状況にもよりますが、助成金の交付ができない可能性がありますので、予めご了承ください。

また、全額助成をお受けいただけない場合もございますことも併せてご了承のうえ、一度振興会までご連絡ください。

境港利用予定(計画書未提出)の企業さま

一度振興会までご連絡ください。

境港利用助成制度について
ご不明な点がございましたら、
お気軽にお問合せください。

境港貿易振興会



境港



香港

混載輸送実験結果

国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所は、昨年11月に境港に週1便寄港する国際フィーダー航路を利用し「+2度」に設定したリーファーコンテナ(20フィート)に鮮度保持フィルムで包装した野菜や果物等の冷蔵品を、神戸港経由で香港まで混載輸送する実験をしました(境港ニュース第113号に掲載)。

同事務所は、1月31日に“境港を利用した輸出促進のための意見交換会”を開催し、山陰の企業担当者や関係者等に輸送実験結果の報告を行いました。報告概要は以下のとおりです。

●実施期間

令和6年11月8日～令和6年11月26日(19日間)

●仕向地及び輸送ルート

境港→神戸港→香港〔港間の輸送期間は12日間〕
(国際フィーダー航路を利用した神戸港経由での輸出)

●輸送品目

野菜・果物などの成果物、水産加工品、日本酒など

●品質検査の結果

- ・ 輸送期間中、コンテナ内の温度は設定温度である2℃程度を保って輸送することができた。
- ・ 鮮度保持フィルムを使用した荷物は、到着後に、より良い状態を保っていたものと、あまり効果が見られなかったものがあった。
- ・ 白ネギ、白菜、キャベツ、ブロッコリー、王秋梨、メロンについては鮮度保持フィルムの効果が見てとれ、出荷時と比較してほとんど品質の劣化が見られなかった。
- ・ 野菜・果物の試食をおこなった現地スタッフからは、鮮度保持フィルムを使用したものについて味や香りに問題はなく、購入意思があることや他者に推奨できる品質であるとの声を得られた。

●今後の課題

- ・ 輸出相手国のニーズ把握
- ・ 生産者や地域商社などの関係者との協力体制の構築
- ・ 保冷・梱包・通関など流通加工が可能な保税冷蔵倉庫の確保
- ・ 想定されるリードタイムに対する鮮度保持の可否、検証など



<梱包状況(鮮度保持フィルム使用)>

同事務所の尾崎所長は「複数の輸送手段を確保する観点から海運利用が増える時期が来る。関係機関と連携していつでも対応できるよう準備しておきたい」と話されました。

境港 ➡ 関東へ 海上コンテナ内貨物輸送トライアルを実施しました



物流2024年問題を背景に山陰エリアでも将来的なトラック輸送量の減少が懸念される中、境港管理組合及び境港貿易振興会では、境港利用荷主のサプライチェーン維持を念頭に海上輸送モダリティシフトの促進に取り組んでいます。昨年12月に境港に週1便寄港している国際フィーダー航路(運航:井本商運)を利用した、山陰エリアから関東圏配送先への内貨輸送トライアルを実施しました。(※1)トライアルの概要は下記のとおりです。

※1 今回のトライアルでは、OGLC船橋に関東圏における物流拠点機能を担ってもらうことで、海上コンテナからのデバンニング作業、関東圏での配送作業などが可能となりました。

トライアル概要

- 荷主：株式会社日新(鳥取県境港市)
- 商材：住宅用構造合板72トン
- 貨物量：4FEU(10トン車6台分)



現状



日新工場



(トラック)



関東圏納品先

トライアル



日新工場



境港



(コンテナ船)



OGLC 船橋



関東圏納品先

スケジュール

- 12月10日(火) 日新工場(鳥取県境港市)から貨物(合板)搬入
海上コンテナにバンニング(CFS)
- 12月11日(水) 境港船積、出港(国際フィーダー航路：日本海航路)
- 12月13日(金) 神戸港着(京浜九州航路)
- 12月16日(月) 神戸港発
- 12月18日(水) 東京港大井、OGLC船橋着
- 12月23日(月)~26日(木) 関東地方納品先へ納品
(トラック輸送/王子物流)



<コンテナ内に合板を運びこむ様子>

境港管理組合の岩下局長(境港貿易振興会専務理事)は「結果を検証し、課題があれば解決し、山陰の企業に輸送方法として紹介したい」とコメント。新たな物流ルートの確立が期待されます。

モーダルシフトセミナー(船舶編)が開催されました



物流2024年問題により物流需給が逼迫し、輸送能力不足が懸念される中、その対応策として注目される船による貨物輸送について多くの方に知ってもらえるよう、『もしトラ~もしも関東向け貨物を境港発船舶でトライアル輸送したら~』と題したセミナー(主催:境港管理組合)が米子市内で開催されました。

本セミナーでは、中国地方の物流問題、境港の概要説明、国際フィーダー航路(内航航路)説明や国際フィーダー航路を利用したトライアル輸送の実例紹介(※上段の記事参照)など紹介が行われ、当日は約30名の方にご参加いただきました。

今回トライアル輸送を実施した王子物流株式会社 船橋プロジェクト事業本部 徳川部長補佐は、「OGLC船橋を山陰地区から関東圏輸送のモーダルシフトを担う一大拠点として目指していきたい」と船での貨物輸送を呼びかけました。

当会といたしましては、モーダルシフトによる海上コンテナ輸送需要も発掘、取り込みつつ、境港が皆様の物流における重要拠点となるよう船会社と連携を密にし、利便性の向上に努めていきたいと考えております。今後とも境港をよろしく願いたします。

- 日にち/ 令和7年3月5日(水)
- 場所/ 米子コンベンションセンター(鳥取県米子市)
- 時間/ 14:00~15:30



<セミナーの様子>

境港定期船運航図

境港に寄港している定期船のスケジュール

(2025年3月現在)



月	水	木	金	土	日	
韓国・中国 高麗海運(株) (南星海運(株)) ※協調配船	国際フィーダー★ OOCL 井本商運(株)	韓国 興亜LINE(株) 長錦商船(株) ※協調配船	韓国 高麗海運(株)	日韓フェリー トゥウォン商船(株) (入港)	韓国・中国 高麗海運(株) 南星海運(株) ※協調配船	日韓フェリー トゥウォン商船(株) (出港)
					韓国 興亜LINE(株) 長錦商船(株) ※協調配船	

●釜山トランシップにより、東南アジア・中国各港および欧米等世界各地への接続が可能です。詳しくは各境港代理店までお問い合わせください。
★神戸港経由で台湾等、東南アジア諸国へ接続。

当会のホームページから、境港定期船運航図の詳細についてご覧いただけます。<https://www.sakaiminato-faz.co.jp/>

具体的な見積り等についてのお問い合わせ先 ~通関からお手元までトータルなサービスを提供する地元企業~

企業名	業務	連絡先
NX境港海陸 株式会社 (高麗海運(株)・長錦商船(株)・南星海運(株)・OOCL 境港代理店)	荷役 通関 保管 運送	TEL 0859-44-1652 https://nxsakaiminato-kairiku.com
株式会社 上組 大阪支店 境港出張所 (興亜LINE(株) 境港代理店)	荷役 通関 保管 運送	TEL 0859-45-8707 https://www.kamigumi.co.jp
イースタンクルーズ&フェリー株式会社 (トゥウォン商船(株)境港代理店)	貨物集荷代理店	TEL 0859-21-9077 http://www.dwship.co.kr
株式会社 ニューウェーブ インターナショナル	貨物集荷代理店	TEL 0859-38-1150 http://www.new-wave-int.jp/
株式会社 マブチ 第一事業本部 鳥取工場	輸出梱包 大型貨物梱包 (出張サービス可)	TEL 0859-39-6300 https://www.k-mabuchi.co.jp
ヤマト運輸株式会社 山陰パッキングセンター	輸出梱包 大型梱包 運送	TEL 0859-21-7331 https://www.kuronekoyamato.co.jp

関係機関が相互に連携して、いろいろなご相談に応じます

機関名	主な業務	連絡先
境港貿易振興会	ポートセールス (利用助成制度)	TEL 0859-47-3905
境港管理組合	港湾施設管理	TEL 0859-42-3705
とっとり国際ビジネスセンター (公財)しまね産業振興財団	貿易サポート	TEL 0859-30-3161 TEL 0852-22-6193
ジェットロ鳥取貿易情報センター	国際ビジネス情報の提供・相談・企業支援	TEL 0857-52-4335
ジェットロ鳥根貿易情報センター		TEL 0852-27-3121